

ときめき人

Tokimeki bito



現在はメンバー5人で活動中。
7月には、自然の中で親子一緒に絵本を楽しむ「絵本ウォーク」を開催予定。問い合わせは右記2次元コードから。

Instagram
@ookinaki2021



「年齢を問わず、誰もが絵本の楽しさを味わえる風土を登米に根付かせたい」と、読み聞かせサークル「おおきな木」代表の佐竹さんは声を弾ませる。

「読み聞かせを通して絵本の魅力を広めたい」との思いから結成したサークルは、今年7月で活動5年目を迎える。元々、米山東小学校に子どもを通わせながら読み聞かせボランティアをしていた保護者数人が中心となり、コロナ禍でも親子が安心して楽しめる読み聞かせイベントを開いたことが活動のきっかけ。現在は、メンバーが仕事の合間を縫いながら、児童館や子育て支援センターなど、市内外のさまざまな場所で、読み聞かせや本を楽しむための自主イベントを開催している。

「おおきな木」の読み聞かせには、絵本の世界を

深く味わう工夫が詰められている。物語の内容に合わせた工作や歌、手遊びなどを通して、楽しみながら子どもたちの好奇心と想像力を育んでいく。

そんな絵本の力は、「実は大人にとっても大切なもの」と佐竹さんは話す。子どもと一緒に絵本を楽しむことは、親子の思いを共有するひとときとなり、親自身にとっても、絵本のメッセージが自分の気持ちや考え方を見つめ直すことにつながる。

サークル名は、アメリカの作家シェル・シルヴァスタインの絵本『おおきな木』に由来する。作中に登場するリンゴの木のように、地域に根差し、人々の生活を優しく見守る存在となることを願って、これからも「おおきな木」は、楽しい絵本の世界へと私たちをいざなってくれる。

編集後記

▼東和小学校の開校式と入学式に行ってきました。よみがえってきたのは30年以上前の少年野球の思い出。米谷小タイガース、錦織小ホエールズ、米川小ジャイアンツと試合をしたことでした。寂しさが胸に浮かびましたが、入学式で出会った子どもたちの笑顔に元気をもらいました。(高橋)

▼登展を取材。開場直後から多くの来場者でにぎわっていました。出展者から制作の秘話を聞きながら見ていると時間はあっという間に過ぎました。写真を撮っているといつも編集後記を見ているよ。3人のうち誰ですか」と声をかけてもらい、うれしかったです。(森田)

▼小さい頃、「からすのパンやさん」や「ねずみくんのチョコッキ」の絵本が大好きで、親に何度も読むようにせがんだ記憶があります。「え」と言いながらも毎回付き合ってくれた親のありがたさを今になって実感しました。しばらく距離を置いていた絵本ですが、また読んでみようかな。(添田)

登米市公式ホームページ

<https://www.city.tome.miyagi.jp/>

登米市メール配信サービス

(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>

登米市公式 LINE

(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>



広報とめ (6月号)

発行日/令和7年5月19日

発行/登米市

編集/総務部市長公室 広報広聴係

TEL 0220-22-2090

FAX 0220-22-9164

E-mail: koho@city.tome.miyagi.jp

印刷/川内印刷株式会社

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

To Me

6

Jun 2025 Vol.361

